

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

令和7年1月実施

回答 児童担当職員 6名（管理者、児童発達支援管理責任者を含む）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	2	基準は満たしているが、その日の受け入れ人数や一人ひとりの特性を考慮すると、基準以上のスペースが欲しい。長期休業中は特に、生活介護事業と共有のスペースにおいて折り合いをつけながら活動している。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3	2	状況によっては、1対1の対応が必要な場合があり、利用率が高い長期休暇中や時間帯によっては手薄に感じる時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	職員間で限られた場所の活用方法を協議し、日々改善への取り組みを続けている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	毎月支援会議を開催し、個別支援計画の作成、見直しを行っている。その際、担当職員がそれぞれ意見を言い合える環境作りには力を入れている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	毎年アンケート調査を実施し、改善が必要な場合は担当職員間で話し合いの場を設けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	法人ホームページや通信にて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	当法人として、外部評価導入を検討中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	事業所内における研修計画を基に外部、内部研修を受講する機会を設定している。
適切 な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	面談やサービス等利用計画、学校の教育支援計画、ひとりひとりの状況や特性を基に担当職員間で支援会議にて話し合いながら作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	標準化された発達検査や心理検査等を実施していないが、事業所独自のサポートブックを使用している。また、各自で受けた発達検査等の結果をご家族と共有し、アセスメントしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	毎月の職員会議にて、担当職員で話し合いながら決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	子どもたちが楽しめる活動として固定しているものもあるが、人数や天候等などの状況に応じて、新しいことに取り組みめるよう担当職員間で話し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	一人ひとりの支援計画を基に、保護者のニーズや個々の特性等を考慮しながら設定したり、必要に応じてサポートしながら支援している。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	設問のとおり作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	できる限り口頭の他、書面を用いて確認するようにしている。急な変更があった場合にも、都度確認し合いながら支援にあっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	なるべくその日のうちに振り返りができるよう、口頭や書面にて共有している。送迎等にてその日のうちに時間が設けられない場合においても次の日などに共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	アクションがあった際の環境要因や条件等をその都度把握し、再発時の対応力向上や二次的な障がいにつながらないよう努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	基本的に本人や保護者面談をすることで、ニーズの変化等に対応しながら作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1	0	ガイドラインについて特別意識しているわけではないが、ガイドラインに基づいた支援を実施できているように感じる。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	ご家族や学校と、その都度連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	現状特別な医療的ケアを必要とする子はいないが、受け入れる際はご家族や相談員を通じて連絡を体制を取って行く。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	0	相談員を通じて引継ぎ事項を確認している。また、利用児によっては、サポートブックを共有することで情報共有できている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	0	関係機関と連携し、学校卒業後の生活を見据えながら支援を進めている。また、移行先へ引継ぎ書等の情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	発達障がい者支援センターが主催する研修等に参加しており、必要に応じて連絡がとれる関係にある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	4	現状、交流する機会はないが、今後長期休暇中の活動として検討していければと考えている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	連絡帳や送迎、面談の際に情報共有しており、その日の出来事や様子などご家族と話す際にはご負担にならないようお伝えしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	2	定期的に保護者の懇談会を開き、障がい支援に理解を深める機会（研修会等）を作っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	面談やお知らせ文書、会報などで説明しているが、よりわかりやすい説明ができるよう工夫していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	相談支援事業所と連携しながら対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	1	定期的な保護者との懇談会開催や保護者が参加できる行事を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	苦情受付については、事業所内に担当窓口を設置している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	定期的に会報を発行しており、活動や行事の様子を写真等にてご家族に報告している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	ガイドラインに基づき、職員間で注意喚起している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	ひとりひとりの障がい特性に合わせ、伝え方などの配慮をしているが、不十分であると感じる場面があり、今後工夫しながら支援にあたりたい。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	0	以前はアップル祭を開催し、地域の方々にも声をかけて参加を呼びかけていたが、近年は感染症対策にてそのような行事等を開催できていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	各種マニュアルは作成しており、随時更新している。更新した際は、職員やご家族に周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年2回の火災訓練、年1回の土砂災害等による避難訓練を実施している。今年度はすでに火災訓練、土砂災害等による避難訓練を1回ずつ実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	法人内および事業所内において、虐待防止委員会を設置し、定例会や内部研修を実施することで権利擁護意識の向上に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	緊急やむを得ない場合には事前にご家族に説明するとともに、放課後等デイサービス計画にも位置づけるようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	0	ご家族からの聞き取り調査を基に、必要に応じてアレルギー除去食を提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	ヒヤリハットについてはその都度積極的に記録し、事故防止に努めている。